

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木の駅プロジェクトによる間伐材多角的活用推進事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人いいだ自然エネルギーネット山法師
事業区分	森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	887,916 円 (うち支援金 : 681,000 円)

事業内容

当法人では丸太材を薪や板材に加工し需要者に提供する新たな事業体「木の駅プロジェクト」を平成27年度に立ち上げその活動による収益で森集人や自伐林家からの丸太を買い上げるによりそれらの活動を支援することとし、下久堅地区の廃豚舎を借り上げ間伐材の保管加工施設として整備することとした。施設名は平成28年度に「木の駅ひさかた」と命名。

平成29年度は、事業を軌道に乗せるために以下の作業環境整備や加工・塗装に関する研修を行った他、間伐材の利用に関する普及啓発イベント「森の市」を10月に関係団体と共に開催した。また、体験工房としてDIY受け入れの看板設置。

- ・木場の拡張整備及び雨水排水工事
- ・木材の乾燥及び塗装等に関する視察研修
- ・木材の加工や乾燥等に関する資機材の購入



【木場の拡張整備】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・市民団体や個人から丸太材の買入を行った。10 m³
 - ・薪の生産を8 m³行った。
 - ・板材の生産量を10 m³行った。
 - ・丸太の販売量1.3 m³
 - ・シイタケや炭焼きの原木を4 m³ 供給した。
- 当初の目標の8割り程度となったがほぼ達成できた。
- ・間伐材の利用に関する普及啓発事業「第2回森の市」を10月に行政や関係団体との連携協力で開催できた。また、森林組合や市林務課が事務局を担い今後の継続開催の道筋が着けられたことは良かった。
 - ・木工体験として九段小の生徒を受け入れた。

【目標・ねらい】

- ①市民活動団体や林家の支援
- ②自然エネルギーの利用拡大
- ③暮らしの中に地域材の利用推進

※自己評価 【B】

【理由】

ほぼ予定した事業が完了できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は、木の加工品づくりと販売拡大に力を注ぎ事業を軌道に乗せることにより、市民活動団体や個人の林家などからの間伐材の買入れ量を増やすなど NPO が行う林業の6次産業化のモデル事業となる事を目指したい。

関係団体との連携による間伐材活用フェアの継続実施にも力を注ぎたい。

DIY 希望者等のニーズに対応し施設を体験工房としても機能させ間伐材利用の拡大に取り組みたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある